

第 15 回放射線医薬品・画像診断薬研究会

開催日 平成 27 年 9 月 12 日 (土) 8:45 開場
場所 京都市勧業館「みやこめっせ」 大会議室
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1

一般演題の発表時間は、発表 10 分、質疑応答 5 分の計 15 分です

<プログラム>

開会挨拶 9:15 ~ 9:20

佐治英郎 (京都大学大学院薬学研究科)

セッション 1

座長: 小川数馬 (金沢大学新学術創成研究機構)

A-1 9:20 ~ 9:35

MT1-MMP 活性を標的としたインビボイメージングのための^[18/19F]BODIPY 導入
PEG 化ペプチドプローブの開発

近藤直哉^{1,2}、天満 敬^{1,2}、小野正博¹、佐治英郎¹
(¹京大院薬、²国循セ研画診)

A-2 9:35 ~ 9:50

Survivin を標的とする低分子腫瘍イメージング剤の開発

石川夏海¹、淵上剛志¹、溝口達也¹、吉田さくら¹、原武 衛²、中山守雄¹
(¹長崎大院医歯薬、²崇城大薬)

A-3 9:50 ~ 10:05

Phosphatidylinositol 3-kinase (PI3K) を標的とした新規 PET プローブの開発

牧野 颯^{1,2}、荒井貴大¹、平田雅彦³、大桃善朗³、小野正博¹、佐治英郎¹
(¹京都大学大学院薬学研究科病態機能分析学分野、²福井大学高エネルギー医学研究センター 分子
プローブ開発応用領域、³大阪薬科大学薬学部生体機能診断学)

A-4 10:05 ~ 10:20

7a-(3-[¹⁸F]fluoropropyl)testosterone の開発

中 喬介¹、清水功雄¹、岡本真由美^{1,2}、石渡喜一²、豊原 潤²

(¹早大理工、²都健康長寿研・神経画像)

A-5 10:20 ~ 10:35

^{99m}Tc 標識用 N4 ペプチドキレターのインビトロ安定性に関する因子の検討

吹野佑太¹、檜垣祐輔¹、上田真史¹、榎本秀一^{1,2}

(¹岡山大学大学院医歯薬総合研究科、²理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)

【休憩】 10:35 ~ 10:45

セッション 2

座長：木村寛之（京都薬科大学）

B-1 10:45 ~ 11:00

乾式法および湿式法による At-211 の分離

渡辺茂樹¹、渡辺 智¹、Donald K. Hamlin²、Chyan-Ming Kuan²、Katherin Gagnon³、鈴木博元⁴、Ethan R. Balkin²、大島康宏¹、D. Scott Wilbur²、石岡典子¹

(¹原子力機構・量子ビーム、²ワシントン大医、³アルバータ大医、⁴千葉大薬)

B-2 11:00 ~ 11:15

Schiff 塩基誘導体を用いた α -[¹¹C]メチル-アミノ酸の標識合成条件の検討

鈴木千恵^{1,2}、加藤孝一³、辻 厚至²、張 明榮²、間賀田泰寛¹、佐賀恒夫²

(¹浜松医科大学 メディカルフォトリクス研究センター、²放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター、³国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター)

B-3 11:15 ~ 11:30

one-pot 蒸留法による[¹⁸F]FACE の合成: オンカラム加水分解法と two-pot 蒸留法との比較

加川信也^{1,2}、矢倉榮幸³、水間 広⁴、西井龍一^{1,5}、東 達也¹、山内 浩¹、大野正裕⁴、高橋和弘⁴、尾上浩隆⁴、川井恵一²

(¹滋賀県立成人病センター研究所、²金沢大学大学院医学研究科、³住重加速器サービス株式会社、⁴理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター、⁵宮崎大学医学部放射線科)

B-4 11:30 ~ 11:45

脳梗塞における 2-[¹⁸F]fluoroacetate の集積変化

水間 広¹、加川信也²、大野正裕¹、松本佳乃¹、東 達也²、西井龍一³、尾上浩隆¹

(¹理化学研究所・ライフサイエンス技術基盤研究センター、²滋賀県立成人病センター研究所・画像診断部門、³宮崎大学・医・放射線科)

特別講演 1

座長：小野正博（京都大学大学院薬学研究科）

S-1 11:45 ~ 12:15

標的への集積向上を目的とした放射性ガリウム化合物の新規設計

上原知也

（千葉大学大学院薬学研究院）

【昼食】 12:15 ~ 13:45

セッション 3

座長：花岡宏史（群馬大学大学院医学系研究科）

C-1 13:45 ~ 14:00

腫瘍内 HER2 の MR イメージングを目的としたナノ粒子型分子プローブの開発

丁 寧¹、佐野紘平^{1,2}、金崎健吾^{1,3}、大橋愛美¹、出口 諄¹、金田侑子¹、小野正博¹、佐治英郎¹

(¹京大院薬、²京大病院、³キャノン)

C-2 14:00 ~ 14:15

網内系クリアランスが迅速である放射性核種封入リポソームを用いた診断治療一体化技術の検討

濱道修生¹、松浦祐樹^{1,2}、大貫和信¹、梅田 泉¹、藤井博史¹

(¹国立がん研究センター、²東京理科大学)

C-3 14:15 ~ 14:30

イメージング質量分析法(IMS)による 2-nitroimidazole を母体骨格に有する薬剤の腫瘍低酸素領域への集積機序の解明

志水陽一^{1,2}、正木悠紀子³、吉岡 健³、田中由香里⁴、西嶋剣一^{2,5}、趙 松吉⁵、東野賢一³、沼田義人³、山口嘉隆⁴、玉木長良⁵、小川美香子¹、久下裕司^{2,5}

(¹北海道大学大学院薬学研究院、²北海道大学アイソトープ総合センター、³塩野義製薬(株)フロンティア医薬研究所シオノギ創薬イノベーションセンター、⁴塩野義製薬(株)開発研究所、⁵北海道大学大学院医学研究科)

C-4 14:30 ~ 14:45

3'-deoxy-3'-[¹⁸F]fluorothymidine-PET による粒子線治療効果予測の有用性に関する基礎的検討

清野 泰¹、林 超¹、久米 恭²、森 哲也¹、Miguel E. Martinez¹、岡沢秀彦¹

(¹福井大学・高エネルギー医学研究センター、²若狭湾エネルギー研究センター・研究開発部)

特別講演 2

座長：河嶋秀和（北海道医療大学薬学部）

S-2 14:45 ~ 15:15

リポソーム DDS を利用した疾患イメージング

清水広介

(静岡県立大学薬学部医薬生命化学教室)

【休憩】 15:15 ~ 15:25

特別講演 3

座長：天満 敬（国立循環器病研究センター研究所）

S-3 15:25 ~ 15:55

生命現象・病態イメージングを目指した蛍光プローブの開発

萩森政頼¹、佐治英郎²、向 高弘¹

(¹神戸薬科大学、²京都大学大学院薬学研究科)

セッション 4

座長：上田真史（岡山大学大学院医歯薬総合研究科）

D-1 15:55 ~ 16:10

光免疫治療法の 3D-LC-QPM による解析

小川美香子¹、山内豊彦²、岩井秀直²、Peter L. Choyke³、小林久隆³

(¹浜松医科大学・メディカルフォトンクス研究センター、²浜松ホトニクス・中央研究所、³Molecular Imaging Program, NCI, NIH)

D-2 16:10 ~ 16:25

⁹⁰Y 標識ベバシズマブを用いたがん治療に関する基礎的検討

花岡宏史、Ryan Yudistiro、Achmad Arifudin、山口藍子、対馬義人

(群馬大学大学院医学系研究科)

D-3 16:25 ~ 16:40

NanoSPECT/CT を用いた hNIS 発現線維芽細胞の生体移植後トラッキング

河嶋秀和^{1,2}、銭谷 勉¹、大谷健太郎³、福田 肇¹、橋川美子¹、天満 敬¹、山原研一³、犬伏正幸⁴、飯田秀博¹

(¹国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部、²北海道医療大学薬学部、³国立循環器病研究センター研究所 再生医療部、⁴川崎医科大学)

D-4 16:40 ~ 16:55

イメージング担体への応用を目指した脂質ナノディスクの作製と評価

細谷 晃、田中将史、向 高弘

(神戸薬科大学)

D-5 16:55 ~ 17:10

インドシアニングリーン結合ポリエチレングリコールを母体とした腫瘍診断用光音響プローブの開発

金崎健吾^{1,2}、佐野紘平^{1,3}、牧野 顕^{1,4}、小野正博¹、佐治英郎¹

(¹京大院薬、²キャノン、³京大病院、⁴福井大高エネ研)